

製品名: Cox-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09264**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	PTGS1
別名	PTGS1; COX1; Prostaglandin G/H synthase 1; Cyclooxygenase-1; COX-1; Prostaglandin H2 synthase 1; PGH synthase 1; PGHS-1; PHS 1; Prostaglandin-endoperoxide synthase 1
遺伝子 ID	5742.0
SwissProt ID	P23219
免疫原	抗血清はヒト Cox1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 550-599

背景

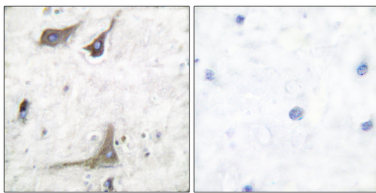
これは、アラキノデートからプロスタグランジンへの変換を触媒する類似の酵素をコードする 2つの遺伝子のうちの 1つです。コー

ドされているタンパク質は内皮細胞における血管新生を制御し、アスピリンなどの非ステロイド性抗炎症薬によって阻害されます。シクロオキシゲナーゼとペルオキシダーゼの両方の機能を持つことから、コードされているタンパク質はムーンライトタンパク質として同定されています。このタンパク質は、腫瘍の進行過程において細胞増殖を促進する可能性があります。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年1月],触媒活性: アラキドン酸 + AH(2) + 2 O(2) = プロスタグランジン H(2) + A + H(2)O.,補因子: サブユニットあたり1つのヘム B (鉄プロトポルフィリン IX) 基に結合する。機能: 一部の正常細胞および腫瘍性形質転換細胞において、細胞増殖の調節または促進に重要な役割を果たす可能性がある。、その他: この酵素は、ジオキシゲナーゼおよびペルオキシダーゼの両方として作用する。、その他: この酵素は、アスピリンなどの非ステロイド性抗炎症薬の標的である。、経路: 脂質代謝; プロスタグランジン合成。、類似性: プロスタグランジン G/H 合成酵素ファミリーに属する。、類似性: 1つの EGF 様ドメインを含む。、サブユニット: ホモ二量体。、

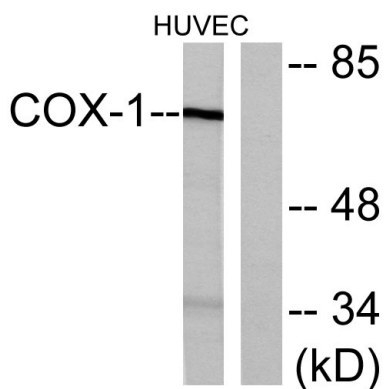
研究分野

アラキドン酸代謝;

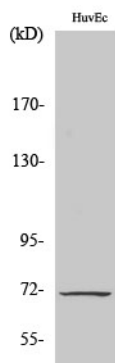
画像データ



Cox1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Cox1 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Cox-1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析